

【背景】


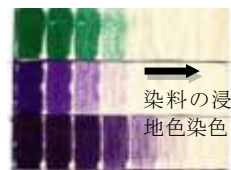
- ・結城紬産地で使用されている化学染料の製造中止が相次いでおり、代替となる新たな染料の特定が望まれています。
- ・産地では着尺以外の製品開発に取り組み始めていますが、小物製品などに適する色相の染色データが産地内に少ない。
- ・天然染料を用いた製品への需要、要望が高まっていますが、染色処方や染色堅ろう度などの染色品質に関するデータが殆どない。



【目的】

- ・化学染料（金属錯塩酸性染料，酸性染料）及び天然染料の染色品質を把握し，結城紬産地の製品に使用可能な染料を特定する。なお今年度は化学染料の特定のための試験を実施しました。

【試験内容・方法】

<p>※ <u>染色試験</u> 色相及び濃度の確認 試験糸：手紡糸 4 匁・150 回転/カセ 染料：金属錯塩酸性染料 12 色 酸性染料 15 色 染色濃度：0.1, 0.5, 1.0, 3.0, 5.0 %</p> 	<p>※ <u>脱色試験</u> 目色染色適正確認 試料：各染料 0.1～3.0%染色糸 処理条件：還元脱色剤 5%o.w.f 浴比 1:50 温度 95℃ 時間 5min 処理後→水洗→脱水→乾燥</p>  <p>脱色性が高い染料は緋の目色染色に適する</p>
<p>※ <u>浸透性試験</u> 緋染色適正確認 試験布：絹（添付白布） 染色条件：湯練 10min → 静止染色 30min</p>  <p>染料の浸透が多いほど地色染色には不向き</p>	<p>※ <u>染色堅ろう度試験</u> 染色品質評価</p> <p>耐光試験 (JIS L 0843 キセノンアーク灯光) 水試験 (JIS L 0846 B 法 16 時間) 熱湯試験 (JIS L 0845 ビーカー法 2 号) 摩擦試験 (JIS L 0849 試験機 II 型)</p>



【結果】

- ・各試験の結果をもとに染料を選別。
- ・結城紬の着尺規格に適する代替染色及び一定の染色堅ろう度の基準を満たす小物製品等の製品開発に活用可能な色相の染料を特定。

【今後の計画】

- ・得られた染色のデータは，結城紬産地の製品生産に関わる県内企業での活用が可能である。
- ・今後，染色見本帳を作製し，製品の製造，新規開発をしていく上での基礎データとして使用していく予定です。
- ・さらに，天然染料についても同様の試験，検証を実施する予定です。

<p>基礎となった事業</p>	<p>平成 21 年度 試験研究指導費（標準） テーマ名「天然染料及び化学染料の染色堅ろう度の検証」</p>		
<p>担当部門</p>	<p>紬技術部門</p>	<p>主任 中野 睦子</p>	<p>tel : 0296-33-4154</p>